



概要

- [目的 \(1 ページ\)](#)
- [はじめに \(1 ページ\)](#)
- [前提条件 \(2 ページ\)](#)

目的

このドキュメントの目的は、初めて Cisco IE ネットワークデバイスを Cisco IoT Operations Dashboard にオンボーディングし、Secure Equipment Access (SEA) サービスを介して初めてリモートセッションを設定する際に、新しいSEA 管理者を支援することです。完了すると、SEA 管理者はインターネット対応デバイスから必要な OT 資産へのリモートアクセスを実行できるようになります。

これは、目的を達成するための最短かつ最も効率的な経路を提供するように設計された、自己完結型のクイックスタートガイドです。

詳細と高度な概念については、[主要なドキュメント](#)を参照してください。

はじめに

Cisco Secure Equipment Access (SEA) サービスは、メンテナンス作業を実行するために、特定の産業用 IoT リソースへのリモートアクセスをお客様とパートナーに提供することを目的としています。

IE スイッチでの SEA の有効化

IE スイッチで SEA を有効にし、接続された資産とのリモートセッションを実行するには、次の手順を実行します。

1. [デバイスプロファイルの作成とアプリケーション マネージャ サービスへの IE スイッチの追加](#)
2. [IE スイッチの設定と IoT Operations Dashboard との接続の開始](#)

3. [Secure Equipment Access](#) サービスへの IE スイッチの追加
4. [リモートセッションの設定](#)

前提条件

- 有効な IoT OD 組織（クラウドテナント）が必要です。ない場合は、<mailto:iotod-account-request@cisco.com> に要求を送信します。
- 組織内にアプリケーションマネージャ管理者ロールと SEA システム管理者ロールが必要です。
- IE スイッチに SD カードがある。
- IE スイッチには、最小バージョンで IOS-XE 17.14.1 が必要です。
- IE スイッチが、使用する IoTOD クラスタに応じて、インターネットサイト us.ciscoiot.com または eu.ciscoiot.com に接続できる。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。